



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月12日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハピネット
コード番号 7552 URL <http://www.happinet.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 苗手 一彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 浅津 英男 TEL 03-3847-0410
四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	87,371	14.6	1,551	54.0	1,579	47.3	1,375	93.8
25年3月期第2四半期	76,211	△13.9	1,007	△56.5	1,072	△55.7	709	△53.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,434百万円 (105.2%) 25年3月期第2四半期 698百万円 (△50.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	61.13	61.06
25年3月期第2四半期	31.68	31.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	60,264	24,522	40.7
25年3月期	53,003	23,289	43.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 24,514百万円 25年3月期 23,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	11.25	—	11.25	22.50
26年3月期	—	11.25	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	11.25	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,000	16.0	3,400	14.4	3,500	13.6	2,000	△0.6	88.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）トイズユニオン株式会社
（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	24,050,000株	25年3月期	24,050,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,493,290株	25年3月期	1,593,370株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	22,505,866株	25年3月期2Q	22,402,026株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和などの経済政策により景況感が改善し、景気の回復基調が見られる一方で、欧州の債務問題やアメリカの財政状況等の影響による海外経済の下振れリスクがあり、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属するエンタテインメント業界におきましては、少子化や消費者ニーズの多様化、ソフト配信やソーシャルゲームの影響によるパッケージ市場の低迷等、依然厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループの業績につきましては、アミューズメント事業が夏季商戦において好調に推移し、映像音楽事業においても利益率の高いオリジナル作品のヒットに恵まれたことにより、売上、利益ともに好調に推移いたしました。

また、平成25年7月16日付でビデオゲーム商材の卸売りを営むトイズユニオン株式会社の株を取得し子会社化したことによる負ののれん発生益の計上により、四半期純利益は前年同期を大幅に上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は873億7千1百万円（前年同期比14.6%増）、営業利益は15億5千1百万円（同54.0%増）、経常利益は15億7千9百万円（同47.3%増）、四半期純利益は13億7千5百万円（同93.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①玩具事業

中核事業であります玩具事業は、バンダイの男児キャラクター「獣電戦隊キョウリュウジャー」や女兒キャラクター「アイカツ！」の関連商材が好調に推移しているものの、一部人気キャラクター番組の放映開始月の変更の影響により、売上、利益とも前年同期を下回って推移いたしました。

この結果、売上高は318億8千万円（前年同期比1.6%減）、セグメント利益は5億6千3百万円（同32.4%減）となりました。

②映像音楽事業

映像音楽事業につきましては、インターネットを利用した配信等の普及の影響等により、パッケージ市場が低迷する中、出資作品の「のぼうの城」や自社作品の「ゾイド」など、利益率の高いオリジナル作品が好調だったことにより、利益面は前年同期を大幅に上回りました。

この結果、売上高は213億円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益は3億7千7百万円（同250.1%増）となりました。

③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業につきましては、一部ヒット商材があったものの、ソーシャルゲームの普及の影響等により、パッケージ市場全体が低迷しております。

当社グループにおきましては、任天堂商材の取扱大手でありますトイズユニオン株式会社を子会社化したことにより売上高は増加いたしました。利益面に関しましては、在庫効率化を図ることを目的に在庫評価の見直しを行ったため、前年同期を下回りました。

この結果、売上高は230億4千2百万円（前年同期比75.5%増）、セグメント利益は3千4百万円（同64.6%減）となりました。

④アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、キッズカードゲーム機の商材において「アイカツ!」、「ドラゴンボールヒーローズ」が好調だったことに加え、玩具自動販売機商材も好調に推移していることにより、売上高、利益ともに前年同期を大幅に上回りました。

この結果、売上高は111億4千7百万円（前年同期比11.9%増）、セグメント利益は11億9千万円（同96.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ72億6千1百万円増加し、602億6千4百万円となりました。これは主に、トイズユニオン株式会社を連結の範囲に含めたことに伴うたな卸資産、受取手形及び売掛金等の流動資産の増加50億2千万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ60億2千8百万円増加し、357億4千1百万円となりました。これは主に、トイズユニオン株式会社を連結の範囲に含めたことに伴う短期借入金等の流動負債の増加57億8千万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ12億3千3百万円増加し、245億2千2百万円となりました。これは主に、四半期純利益計上による利益剰余金の増加13億7千5百万円及び剰余金の配当による利益剰余金の減少2億5千2百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年7月16日の「トイズユニオン株式会社の株式の取得（子会社化）及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、トイズユニオン株式会社の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,155	10,541
受取手形及び売掛金	27,234	28,569
たな卸資産	6,529	9,049
その他	4,074	4,875
貸倒引当金	△63	△84
流動資産合計	47,930	52,951
固定資産		
有形固定資産	1,110	1,694
無形固定資産		
のれん	246	123
その他	738	580
無形固定資産合計	985	704
投資その他の資産	2,976	4,914
固定資産合計	5,072	7,312
資産合計	53,003	60,264
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,672	22,795
短期借入金	—	6,000
未払法人税等	678	569
賞与引当金	378	230
その他の引当金	24	23
その他	3,129	3,044
流動負債合計	26,883	32,663
固定負債		
退職給付引当金	1,830	2,039
役員退職慰労引当金	—	22
その他	999	1,015
固定負債合計	2,829	3,077
負債合計	29,713	35,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	2,775	2,775
利益剰余金	18,607	19,727
自己株式	△1,055	△989
株主資本合計	23,078	24,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189	249
繰延ヘッジ損益	1	△0
その他の包括利益累計額合計	191	249
新株予約権	17	8
少数株主持分	1	0
純資産合計	23,289	24,522
負債純資産合計	53,003	60,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	76,211	87,371
売上原価	66,019	76,587
売上総利益	10,192	10,783
販売費及び一般管理費	9,185	9,231
営業利益	1,007	1,551
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	16	21
負ののれん償却額	14	1
その他	38	34
営業外収益合計	70	58
営業外費用		
支払利息	2	5
為替差損	1	0
貸倒引当金繰入額	—	24
その他	0	0
営業外費用合計	5	30
経常利益	1,072	1,579
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	5	—
負ののれん発生益	—	409
特別利益合計	5	411
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	1	0
投資有価証券評価損	31	7
減損損失	13	33
会員権評価損	7	—
役員退職慰労金	—	110
特別損失合計	55	152
税金等調整前四半期純利益	1,022	1,838
法人税、住民税及び事業税	371	557
法人税等調整額	△59	△94
法人税等合計	312	462
少数株主損益調整前四半期純利益	710	1,376
少数株主利益	0	0
四半期純利益	709	1,375

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	710	1,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	59
繰延ヘッジ損益	△1	△2
その他の包括利益合計	△11	57
四半期包括利益	698	1,434
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	698	1,433
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,022	1,838
減価償却費	323	309
減損損失	13	33
のれん償却額	154	121
負ののれん発生益	—	△409
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	12
株式報酬費用	5	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△211	△193
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	48	55
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	0
受取利息及び受取配当金	△17	△23
支払利息	2	5
固定資産除売却損益 (△は益)	2	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	31	7
会員権評価損	7	—
為替差損益 (△は益)	1	0
売上債権の増減額 (△は増加)	3,357	618
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,236	△1,564
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,501	△1,030
その他	△722	△2,222
小計	271	△2,440
利息及び配当金の受取額	17	23
利息の支払額	△2	△9
法人税等の支払額	△1,593	△666
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,306	△3,093
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△69	△156
有形固定資産の売却による収入	1	5
無形固定資産の取得による支出	△72	△62
投資有価証券の取得による支出	△4	△5
投資有価証券の売却による収入	6	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	5
子会社株式の取得による支出	—	△1
その他	△34	89
投資活動によるキャッシュ・フロー	△173	△124
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	4,000
長期借入金の返済による支出	—	△194
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の処分による収入	—	53
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△363	△252
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△364	3,605
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,846	386
現金及び現金同等物の期首残高	12,359	10,155
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,512	10,541

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオ ゲーム事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	32,410	20,711	13,127	9,962	76,211	—	76,211
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	32,410	20,711	13,127	9,962	76,211	—	76,211
セグメント利益	833	107	98	605	1,644	△637	1,007

(注) 1. セグメント利益の調整額△637百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△637百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオ ゲーム事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	31,880	21,300	23,042	11,147	87,371	—	87,371
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	31,880	21,300	23,042	11,147	87,371	—	87,371
セグメント利益	563	377	34	1,190	2,166	△614	1,551

(注) 1. セグメント利益の調整額△614百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△614百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第2四半期連結会計期間において、トイズユニオン株式会社の全株式を取得し、同社を新たに連結の範囲に含めております。これにより「ビデオゲーム事業」セグメント資産の金額は、前連結会計年度の末日に比べ、110億1千5百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「ビデオゲーム事業」セグメントにおいて、平成25年7月16日付でトイズユニオン株式会社の全株式を取得し子会社化したことにより、負ののれん発生益を特別利益に計上しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては4億9百万円であります。